



**7月11日**

6月26日提出 八地申第7号

## 東所沢駅乗り継ぎにおける熱中症対策に 関する緊急申し入れ 団体交渉開催！！

### 申し入れ項目

- 乗務員乗り継ぎ詰所廃止に伴い、東所沢駅で乗り継ぐ乗務員の熱中症対策を講じること。武蔵野運輸区以外の区所でも乗り継ぎ時間僅少の行路が多くあることから、東所沢駅執務・休憩個所の見直しを行い、駅休憩室の一部に乗務員の待機場所を確保すること。

### ～交渉内容抜粋～

組合：乗継詰所を廃止した理由は？

会社：東所沢駅近接に運輸区庁舎を設置したため。

組合：乗継時間が僅少で運輸区まで帰ると休憩が取れないため駅のバックヤードの階段・通路で次列車まで待機している乗務員がいることは把握しているのか？

会社：把握している。現在の環境がすべて良いとは考えていない。

組合：すでに猛暑日が続いている。熱中症対策は急務の課題だ。

会社：通達に基づいて塩分タブレットの配布をしている。



### ～交渉での確認事項～

- 国のクールワークキャンペーン([令和6年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#))に基づいて、暑さ指数(WBGT)の把握をすることを確認。→合わせて支社内の各職場においても把握していくよう要請。
- 異常時に東所沢駅の駅設備を使用できるということを改めて確認し、社員に再度周知することを確認。
- 熱中症対策のため、さいたま車掌区旧乗泊のトイレの環境改善と東所沢駅での給水スポット等の整備について、早急な改善を検討していくことを確認。
- 現時点において、さいたま車掌区旧乗泊のトイレ付近に乗り継ぎ僅少のため、乗務員が待機をしていることや、旧運転士詰所の階段で待機している職場現実を伝えて、改善に向けて議論し、労使で現状の認識を一致させた。
- 今夏の熱中症対策等どのように行っていくのか議論し、会社として早急に対策を具体的に検討していくことを確認した。

**現場の声を基に労働環境の改善をし、  
安全な鉄道輸送をつくりだそう！**

